

平成26年度

杉田玄白記念公立小浜病院改革プラン実績評価書

平成27年9月

杉田玄白記念公立小浜病院評価委員会

◎ はじめに

病院改革プラン（以下、「改革プラン」という。）は、平成19年12月に総務省において策定された「公立病院改革ガイドライン」に沿って平成21年3月に策定され、その取り組み状況についての点検・評価を行う為、評価委員会が設置された。

「杉田玄白記念公立小浜病院評価委員会」は、外部有識者、住民代表者等を含む5名の委員で構成され、平成23年度決算の状況を含め、改革プランの実施状況の点検・評価を実施した。

1. 評価区分の基準

「計画、実績」「改革プランにおける数値目標等（実績、目標）」「公立病院として今後果たすべき役割」について評価を行った。

評価は次の表のように4段階とし、それぞれの評価の基準は説明のとおりである。

評価	評価の基準
◎	計画、数値目標を大きく上回った
○	計画、数値目標をほぼ達成した
△	計画、数値目標をやや下回った
×	計画、数値目標を大きく下回った

2. 総合評価

今年度の経常収支比率等の経営状況は目標を下回る評価となった。個々の評価結果に対して改善を目指すとともに、早い時期に、地域医療構想を踏まえた病床区分・病床数を含め、経営形態・事業形態の抜本的な検討をしていただきたい。

その一方で、常勤医師ならびに研修医等の医師確保、看護師確保による診療機能の充実により、経営改善を図るとともに、地域の基幹病院としての役割を担っていただきたい。

I. 「公立病院として今後果たすべき役割」

① 初期治療から高度特殊医療まで総合的に提供できる救急医療の提供

外来・入院患者ともに減少している。外来収益は、患者数の減少を1人当たりの診療単価の上昇で補っているが、入院収益は患者数減が影響している。収益を増やすためにも、予約診療制および駐車場の無料時間を見直すなど、受診し易くすることも含めて、患者数確保に努力していただきたい。

今年度より、救急総合診療科医師を4名体制とし、救急車搬送患者に対応しており評価できる。

② 生活習慣病に適切に対応する医療提供

医師の交替に伴い、健診受入を制限した部分がある。健診者数についての対応に向け、専従医師の確保に更に注力していただきたい。

③ 地域災害医療センターとしての医療機能の提供

DMATの活動、および各種の訓練・研修会への参加等、熱心に取り組む姿勢が見られ高く評価できる。

今後も、地域災害拠点病院としての機能を果たすべく、期待したい。

④ へき地医療拠点病院としての機能の提供

高齢化に伴い患者数は減少傾向にあるが、無医地区への巡回診療、名田庄診療所への医師派遣などは評価すべき取り組みである。

⑤ 小児医療・産科医療の確保

地方において小児科および産科の医師不足が深刻化する状況にもかかわらず、小児科医3名、産科医2名を維持しながら地域医療に貢献していることは高く評価できる。

また、休日の小児医療の確保、嶺南地域の小児療育医療の取り組みも高く評価できる。

⑥ 研修機能の充実

医療知識・技術の向上を図ることができるような体制が整備され、利用されていることは評価できる。

臨床研修医・嶺南医療振興財団の奨学生の確保とともに、認定看護師の育成等に対する研修体制の推進についても評価できる。

⑦ 看護師の養成・確保

看護師の数は減っているが、看護師確保のため奨学金制度の充実など様々な取組がされ、併設の公立若狭高等看護学院卒業生の確保も出来ており、評価できる。

⑧ 地域医療機関との連携の推進

紹介率の算定方法の変更により紹介率は下がっているが、紹介患者数は増加しており評価できる。

当地域の診療所等、医療提供施設数を考慮すると、紹介率・逆紹介率の向上は限界がある。

Ⅱ. 「経費削減・抑制対策」

① 給与費の抑制

診療報酬請求の基準上、医療技術員及び看護師の職員数増による給与費の増は理解できるが、改革プランでは給与費の増加抑制が計画されている。更なる業務委託の拡大などによる給与費の削減を期待する。

② 経費の削減

薬品費は後発品の使用などで削減努力はしているが、輸血血液の購入増により増加している。

診療材料の見直しや価格交渉による診療材料費の削減、業者交渉による経費の削減など、努力による改善効果が見受けられる。

Ⅲ. 「収入増加・確保対策」

① 急性期病院として平均在院日数の短縮に努め、効率的な病床運営を行い病床利用率を高める。

平均在院日数は16日に抑制されて評価できるが、プランでは450床は維持するとなっているが、将来的には病床区分、病床数の見直しも視野に入れて、検討が必要であると考える。

② 亜急性期病床を8床増床し、入院収益の増収を図る。(年間 21,900 千円)

診療報酬改定にて亜急性期医学管理料が削除となったため、評価対象としない。

③ 初診時特定療養費や文書料等の見直しを図る。

手数料収益は、消費税増税分を含め増収となったことは評価できる。

- ④ 診療報酬制度に的確に対応するため、研修等を実施する。
保険診療に関する講習については病院内各職種に向けた講演会を実施するとともに、事務部においてはDPCの有効活用ができるようセミナー等へ積極的に参加し、収益増を目指していることは評価できる。
- ⑤ 良質な医療の提供と収益性の向上を図るため、急性期入院医療における診断群分類別包括評価（DPC）準備病院に平成20年度申請した。
医療の質および収益性の向上を図ることを目的とした、職員の診療情報管理士資格取得に対する研修方針については高く評価できる。
- ⑥ 地域医療支援病院の承認が得られることにより、入院収益の増収が見込めることから承認申請に向け検討を開始した。
地域医療支援病院の施設認定基準の一つである、紹介率・逆紹介率は非常に高く設定されており、現在の地域支援病院の制度・基準では認定は困難と思われる。今後は、地域の状況に見合った基準の見直しに期待すると共に、当院からも関係病院団体、行政への働きかけを行うことが望ましい。

改革プランにおける数値目標等（実績・目標）

（単位：百万円）

収支	平成25年度 決算	平成26年度 プラン（A）	平成26年度 決算（B）	決算-プラン B-A	平成27年度 プラン
病院事業収益	6,864	6,761	7,091	330	6,810
うち外来収益	1,700	1,588	1,755	167	1,588
うち入院収益	4,101	4,187	3,983	▲ 204	4,198
うち医業外収益	635	662	939	277	696
病院事業費用	7,593	6,805	7,703	898	6,764
うち給与費	3,391	3,270	3,444	174	3,270
うち材料費	1,289	1,408	1,257	▲ 151	1,408
うち経費	841	750	813	63	750
うち減価償却費等（資産減 耗・繰延償却）	1,013	552	724	172	528
純損益	▲ 730	▲ 44	▲ 612	▲ 568	46
累積欠損金	4,629	4,884	5,241	357	4,838
資金収支	283	278	112	▲ 166	291
不良債務	-	-	-	-	-

財務に係る数値目標	平成25年度 決算	平成26年度 プラン（A）	平成26年度 決算（B）	決算-プラン B-A	平成27年度 プラン	自己評価	委員会評価
経常収支比率	90.4	99.4	92.1	▲ 7.3	100.7	×	×
（減価償却費を除く）	98.9	108.1	101.6	▲ 6.5	109.2	×	×
医業収支比率	89.2	94.7	89.1	▲ 5.6	95.4	×	×
職員給与費率	54.4	53.6	56.0	2.4	53.5	×	×
病床利用率（一般）	80.4	82.2	81.4	▲ 0.8	82.2	○	○
病床利用率（療養）	91.1	82.2	66.2	▲ 16.0	82.2	×	×
病床利用率（全体）	79.9	82.2	76.9	▲ 5.3	82.2	△	△
外来患者数（1日平均）	781.9	810.0	739.9	▲ 70.1	810.0	×	×

平成26年度 杉田玄白記念公立小浜病院改革プラン評価シート

公立病院として今後果たすべき役割

嶺南医療圏・若狭地域の基幹病院として、政策的医療等の提供や病診連携の中心的役割を果たし、地域医療水準の維持、向上に努める。																																		
役割と計画	実 績			進捗の判断	自己評価	委員会評価																												
① 初期治療から高度特殊医療まで総合的に提供できる救急医療の提供	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">平成24年度</th> <th style="width: 20%;">平成25年度</th> <th style="width: 20%;">平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外 来 延 患 者 数</td> <td style="text-align: center;">189,485人</td> <td style="text-align: center;">190,009人</td> <td style="text-align: center;">179,787人</td> </tr> <tr> <td>外 来 収 益</td> <td style="text-align: center;">1,702,104千円</td> <td style="text-align: center;">1,700,154千円</td> <td style="text-align: center;">1,754,742千円</td> </tr> <tr> <td>入 院 延 患 者 数</td> <td style="text-align: center;">138,451人</td> <td style="text-align: center;">131,170人</td> <td style="text-align: center;">127,923人</td> </tr> <tr> <td>入 院 収 益</td> <td style="text-align: center;">4,219,196千円</td> <td style="text-align: center;">4,101,320千円</td> <td style="text-align: center;">3,983,214千円</td> </tr> <tr> <td>救急取扱患者数</td> <td style="text-align: center;">13,987人</td> <td style="text-align: center;">14,637人</td> <td style="text-align: center;">14,469人</td> </tr> <tr> <td>救急車搬送件数</td> <td style="text-align: center;">1,927件</td> <td style="text-align: center;">2,016件</td> <td style="text-align: center;">2,057件</td> </tr> </tbody> </table>				平成24年度	平成25年度	平成26年度	外 来 延 患 者 数	189,485人	190,009人	179,787人	外 来 収 益	1,702,104千円	1,700,154千円	1,754,742千円	入 院 延 患 者 数	138,451人	131,170人	127,923人	入 院 収 益	4,219,196千円	4,101,320千円	3,983,214千円	救急取扱患者数	13,987人	14,637人	14,469人	救急車搬送件数	1,927件	2,016件	2,057件	① 上昇傾向にあった外来患者数は、平成26年度から、減少に転じたが1人当たりの診療単価の上昇により、外来収益は上昇した。 平成25年度に引き続き入院患者数は減少した。それに伴い入院収益は減少した。 ② 平成22年度は、救急専門医師が2名であったが、平成23年度以降は3名に増員したことにより救急医療体制が充実し、患者数の増加が続いている。救急総合診療科医師は26年度に4名、27年度は5名になった。 ③ 救命救急センターを持つ地域の中核病院として、地域の救急医療に貢献している。	△	△
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																															
外 来 延 患 者 数	189,485人	190,009人	179,787人																															
外 来 収 益	1,702,104千円	1,700,154千円	1,754,742千円																															
入 院 延 患 者 数	138,451人	131,170人	127,923人																															
入 院 収 益	4,219,196千円	4,101,320千円	3,983,214千円																															
救急取扱患者数	13,987人	14,637人	14,469人																															
救急車搬送件数	1,927件	2,016件	2,057件																															
② 生活習慣病に適切に対応する医療の提供	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">平成24年度</th> <th style="width: 20%;">平成25年度</th> <th style="width: 20%;">平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健 診 者 数</td> <td style="text-align: center;">1,127人</td> <td style="text-align: center;">1,267人</td> <td style="text-align: center;">1,145人</td> </tr> <tr> <td>うち要医療指摘者数</td> <td style="text-align: center;">598人</td> <td style="text-align: center;">738人</td> <td style="text-align: center;">729人</td> </tr> <tr> <td>健 診 収 益</td> <td style="text-align: center;">51,818千円</td> <td style="text-align: center;">54,832千円</td> <td style="text-align: center;">54,280千円</td> </tr> </tbody> </table>				平成24年度	平成25年度	平成26年度	健 診 者 数	1,127人	1,267人	1,145人	うち要医療指摘者数	598人	738人	729人	健 診 収 益	51,818千円	54,832千円	54,280千円	① 平成26年度は、内科医師の交替に伴い、健診受入人数を制限したため、検診者数・収益ともに減少した。 (協会けんぽの予約人数を1日5名から1日3名に制限) ② 専従の医師確保に苦慮している。	△	△												
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																															
健 診 者 数	1,127人	1,267人	1,145人																															
うち要医療指摘者数	598人	738人	729人																															
健 診 収 益	51,818千円	54,832千円	54,280千円																															

役割と計画	実績	進捗の判断	自己評価	委員会評価																																															
③ 地域災害医療センターとしての医療機能の提供	<p>05/11 県内医療機関の混成チームによる隊員養成研修の受講にて、新たに医師1名が認定を受ける（医師4名体制となる）</p> <p>06/04 NEXCO西日本、若狭消防組合との合同で、舞鶴若狭自動車道の谷田部TNにて夜間の救助訓練を実施（隊員5名参加）</p> <p>06/25 NEXCO中日本、若狭消防組合、敦賀美方消防組合、福井県警が実施の舞若道三方PAでの事故対応訓練見学（隊員1名）</p> <p>09/17 海上保安庁小浜海上保安署、若狭消防本部との合同で、小浜湾旅客船事故対策訓練に参加（隊員3名参加）</p> <p>09/27 木曾御嶽山の噴火により情報収集を実施</p> <p>10/11 中部ブロックDMAT^{*1}実働訓練にて愛知県内での訓練活動を実施（隊員6名参加）</p> <p>11/10 DMAT隊員技能維持研修（福井県福井市）（隊員9名参加）</p> <p>11/22 長野県北部地震（最大震度6弱）により隊員の参集・待機および情報収集を実施（出勤なし）</p> <p>12/15 DMAT隊員技能維持研修（岐阜県大垣市）（隊員1名参加）</p> <p>01/13 内閣官房、福井県、小浜市、消防庁、自衛隊、海上保安庁、福井県警察本部、若狭消防組合消防本部、その他との合同による福井県国民保護共同図上訓練に参加（隊員1名）</p>	<p>有資格者の着任や新規養成により当DMAT^{*1}の医師不足は解消したが、看護師の補充や養成は出来ておらず、前年同様にチームの編成が難しい状況となっている。</p> <p>今年度は、舞鶴若狭道 小浜～敦賀間の全線開通にあわせた訓練や、海上保安庁との訓練などが実施でき、隊員個々のレベルアップが図られた。</p> <p>中部ブロックでは、御嶽山の噴火や長野県北部での地震などの大規模自然災害が連続して発生しており、有事の際に備えるために技能維持研修を、積極的に受講し、最新の知見を学ぶ隊員が増加した。</p> <p>27年度も継続して、新規の隊員養成がなされるよう県当局への要望を行なっていきたい。</p>	○	◎																																															
④ へき地医療拠点病院としての機能の提供	<table border="1" data-bbox="495 724 1227 842"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回診療日数</td> <td>168日</td> <td>168日</td> <td>168日</td> </tr> <tr> <td>延患者数</td> <td>1,057人</td> <td>905人</td> <td>865人</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	巡回診療日数	168日	168日	168日	延患者数	1,057人	905人	865人	<p>へき地医療拠点病院として、無医地区への巡回診療を担当しているが、地域の過疎化により受診者は減少している。しかし、交通手段の乏しい地区への定期的な診療は、地域医療に大きく貢献している。</p> <p>また、名田庄診療所の要請により医師を派遣している。</p>	○	○																																			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																
巡回診療日数	168日	168日	168日																																																
延患者数	1,057人	905人	865人																																																
⑤ 小児医療・産科医療の確保	<table border="1" data-bbox="495 932 1227 1358"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小児医療</td> <td>外来延患者数</td> <td>17,071人</td> <td>16,262人</td> <td>13,123人</td> </tr> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>1,712人</td> <td>1,359人</td> <td>1,674人</td> </tr> <tr> <td>外来・入院収益</td> <td>146,195千円</td> <td>129,633千円</td> <td>130,786千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">産科医療</td> <td>外来延患者数</td> <td>7,261人</td> <td>6,439人</td> <td>5,836人</td> </tr> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>3,885人</td> <td>2,435人</td> <td>2,263人</td> </tr> <tr> <td>外来・入院収益</td> <td>168,752千円</td> <td>124,807千円</td> <td>128,948千円</td> </tr> <tr> <td>正常分娩</td> <td>100件</td> <td>133件</td> <td>108件</td> </tr> <tr> <td>異常分娩</td> <td>75件</td> <td>29件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>帝王切開</td> <td>42件</td> <td>40件</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>217件</td> <td>202件</td> <td>174件</td> </tr> </tbody> </table>			平成24年度	平成25年度	平成26年度	小児医療	外来延患者数	17,071人	16,262人	13,123人	入院延患者数	1,712人	1,359人	1,674人	外来・入院収益	146,195千円	129,633千円	130,786千円	産科医療	外来延患者数	7,261人	6,439人	5,836人	入院延患者数	3,885人	2,435人	2,263人	外来・入院収益	168,752千円	124,807千円	128,948千円	正常分娩	100件	133件	108件	異常分娩	75件	29件	20件	帝王切開	42件	40件	46件	計	217件	202件	174件	<p>地方の医療機関で医師不足が深刻化する中、小児科医3名、産科医2名を維持しながら地域医療を担っている状況にある。</p> <p>（平成25年4月以降小児科は3名体制となった。）</p> <p>小児医療については、休日の小児医療の確保の他、嶺南地域の小児療育医療に取り組んでおり、平成24年度に小児療育施設が完成した。</p> <p>産科医療では、地域の妊産婦が安心して分娩できるよう医療体制を維持していく。</p> <p>平成26年4月より近隣地域の水準を考慮し、分娩料等の見直しを行ったことより、収益は増加した。</p>	○	○
		平成24年度	平成25年度	平成26年度																																															
小児医療	外来延患者数	17,071人	16,262人	13,123人																																															
	入院延患者数	1,712人	1,359人	1,674人																																															
	外来・入院収益	146,195千円	129,633千円	130,786千円																																															
産科医療	外来延患者数	7,261人	6,439人	5,836人																																															
	入院延患者数	3,885人	2,435人	2,263人																																															
	外来・入院収益	168,752千円	124,807千円	128,948千円																																															
	正常分娩	100件	133件	108件																																															
	異常分娩	75件	29件	20件																																															
	帝王切開	42件	40件	46件																																															
	計	217件	202件	174件																																															

役割と計画	実 績	進捗の判断	自己評価	委員会評価																																															
⑥ 研修機能の充実	<p>①研修環境整備として医師、看護師向け各種医療用シミュレーターを平成22年度に購入し、研修に利用している。</p> <p>②TV会議システムを導入し、福井大学病院、福井県立病院など福井県内の7病院を回線で繋ぎ、双方向通信により他病院との会議・勉強会の開催や講演会などの受講が、当院に居ながら可能になり、継続的に利用している。</p> <p>③研修医については、平成26年度は7名となった。平成27年度は前期研修修了者3名が後期研修に残った。</p> <p>④医師の国内研修制度を整備し、研修を推奨している。</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="495 459 1227 887"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">学会出席</td> <td>医 師</td> <td>246</td> <td>247</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>看 護 師</td> <td>154</td> <td>165</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 員</td> <td>139</td> <td>90</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>事 務 、 他</td> <td>81</td> <td>65</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>620</td> <td>567</td> <td>515</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨床研修医</td> <td>病 院 単 独</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>たすきがけ医科</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>” 齒科</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>救急救命士研修</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			平成24年度	平成25年度	平成26年度	学会出席	医 師	246	247	187	看 護 師	154	165	138	医 療 技 術 員	139	90	94	事 務 、 他	81	65	96	計	620	567	515	臨床研修医	病 院 単 独	7	8	7	たすきがけ医科	1	0	0	” 齒科	0	0	0	計	8	8	7	救急救命士研修	16	1	15	<p>①新人はもとより職場復帰者の研修においても、より安全に技術の向上が図れる体制が整った。</p> <p>②地域性の問題を解消し医療知識の向上が図れるようになった。現在は毎週金曜日に福井大学の研修医・医療従事者向けコアレクチャーなどを受講している。</p> <p>③今後も研修医の指導を充実させ、研修医を確保・定着を図るとともに嶺南医療振興財団の奨学生を確保する。</p> <p>④医師の技術習得・他病院での研修に対する支援制度確立を図った。</p> <p>⑤看護師については、引き続き認定看護師の養成に努力しており、平成26年度では、3名が認定され、計6名となった。新たに2名が研修に参加した。また、専任教員養成研修においては、平成26年も1名が受講した。</p>	○	○
		平成24年度	平成25年度	平成26年度																																															
学会出席	医 師	246	247	187																																															
	看 護 師	154	165	138																																															
	医 療 技 術 員	139	90	94																																															
	事 務 、 他	81	65	96																																															
	計	620	567	515																																															
臨床研修医	病 院 単 独	7	8	7																																															
	たすきがけ医科	1	0	0																																															
	” 齒科	0	0	0																																															
	計	8	8	7																																															
救急救命士研修	16	1	15																																																
⑦ 看護師の養成・確保	<p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="495 962 1227 1233"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">看護師</td> <td>新 採 用</td> <td>17</td> <td>20</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>退 職</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>増 減</td> <td>-6</td> <td>1</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">看護学生</td> <td>入 学 生</td> <td>32</td> <td>44</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>卒 業 生</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>小浜病院組合就職者</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>			平成24年度	平成25年度	平成26年度	看護師	新 採 用	17	20	17	退 職	23	19	18	増 減	-6	1	-1	看護学生	入 学 生	32	44	30	卒 業 生	32	31	24	小浜病院組合就職者	12	11	11	<p>①看護師の確保については、7：1看護体制を維持するための人数確保に努力している。引き続き、若狭高看の卒業生を確保するとともに、他の看護学校・看護大学の新卒者や潜在看護師の確保を図る。</p> <p>②看護師確保の為、修学資金を月5万円に増額するとともに、看護大学進学者等への奨学金制度を平成25年度より施行した。</p> <p>③看護師の養成については、10年連続で国家試験合格率が100%の実績を残せた。今後も、学生の獲得を図る。</p>	△	○																
		平成24年度	平成25年度	平成26年度																																															
看護師	新 採 用	17	20	17																																															
	退 職	23	19	18																																															
	増 減	-6	1	-1																																															
看護学生	入 学 生	32	44	30																																															
	卒 業 生	32	31	24																																															
	小浜病院組合就職者	12	11	11																																															

役割と計画	実 績				進捗の判断	自己評価	委員会評価																				
⑧ 地域医療機関との連携の推進	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="495 229 696 263"></th> <th data-bbox="703 229 875 263">平成24年度</th> <th data-bbox="882 229 1055 263">平成25年度</th> <th data-bbox="1061 229 1234 263">平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="495 268 696 301">紹介患者数</td> <td data-bbox="703 268 875 301">3,779人</td> <td data-bbox="882 268 1055 301">3,945人</td> <td data-bbox="1061 268 1234 301">4,817人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="495 306 696 339">逆紹介患者数</td> <td data-bbox="703 306 875 339">2,355人</td> <td data-bbox="882 306 1055 339">2,485人</td> <td data-bbox="1061 306 1234 339">2,952人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="495 344 696 378">紹介率</td> <td data-bbox="703 344 875 378">26.3%</td> <td data-bbox="882 344 1055 378">26.3%</td> <td data-bbox="1061 344 1234 378">24.1%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="495 383 696 416">逆紹介率</td> <td data-bbox="703 383 875 416">20.7%</td> <td data-bbox="882 383 1055 416">21.7%</td> <td data-bbox="1061 383 1234 416">25.7%</td> </tr> </tbody> </table>					平成24年度	平成25年度	平成26年度	紹介患者数	3,779人	3,945人	4,817人	逆紹介患者数	2,355人	2,485人	2,952人	紹介率	26.3%	26.3%	24.1%	逆紹介率	20.7%	21.7%	25.7%	<p>紹介率の算定方法より救急患者数を除くように変更となったので、紹介率は下がった。又、紹介率算定外の歯科口腔外科への紹介は年々、急増している。</p> <p>地域の医療機関との連携について連絡・協議を行う体制作りに取り組み、紹介率、逆紹介率の向上、高額医療機器・病床の共同利用等、地域の基幹病院としての機能の向上に取り組んでいきたい。</p>	△	○
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																								
紹介患者数	3,779人	3,945人	4,817人																								
逆紹介患者数	2,355人	2,485人	2,952人																								
紹介率	26.3%	26.3%	24.1%																								
逆紹介率	20.7%	21.7%	25.7%																								

経費削減・抑制対策	実 績	進捗の判断	自己評価	委員会評価																																	
<p>① 給与費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託・機械化することにより、給与費の抑制を図る。 医師・看護師を除く職種については、原則として増員しない。 	<p>(人数は4月1日付)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">職員数</td> <td>医 師</td> <td>42 (13) 人</td> <td>45 (10) 人</td> <td>46 (11) 人</td> </tr> <tr> <td>看 護 師</td> <td>240 (78) 人</td> <td>233 (69) 人</td> <td>233 (67) 人</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 員</td> <td>69 (5) 人</td> <td>72 (7) 人</td> <td>73 (7) 人</td> </tr> <tr> <td>事 務 ・ 他</td> <td>95 (35) 人</td> <td>91 (41) 人</td> <td>89 (50) 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>446 (131) 人</td> <td>441 (127) 人</td> <td>441 (135) 人</td> </tr> <tr> <td>給 与 費</td> <td>3,376,122千円</td> <td>3,391,178千円</td> <td>3,444,319千円</td> </tr> <tr> <td>対医業収益比 (%)</td> <td>53.1%</td> <td>54.4%</td> <td>56.0%</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	職員数	医 師	42 (13) 人	45 (10) 人	46 (11) 人	看 護 師	240 (78) 人	233 (69) 人	233 (67) 人	医 療 技 術 員	69 (5) 人	72 (7) 人	73 (7) 人	事 務 ・ 他	95 (35) 人	91 (41) 人	89 (50) 人	計	446 (131) 人	441 (127) 人	441 (135) 人	給 与 費	3,376,122千円	3,391,178千円	3,444,319千円	対医業収益比 (%)	53.1%	54.4%	56.0%	<p>①職員数は平成25年度と変動はないが、人事院勧告による昇給等給与費が増加したが、医業収益が伸びなかったため、対医業収益比は悪化した。</p> <p>②業務委託の拡大は、職員の退職の状況等を考慮しながら引き続き検討する。</p>	×	×
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																		
職員数	医 師	42 (13) 人	45 (10) 人	46 (11) 人																																	
	看 護 師	240 (78) 人	233 (69) 人	233 (67) 人																																	
	医 療 技 術 員	69 (5) 人	72 (7) 人	73 (7) 人																																	
	事 務 ・ 他	95 (35) 人	91 (41) 人	89 (50) 人																																	
	計	446 (131) 人	441 (127) 人	441 (135) 人																																	
給 与 費	3,376,122千円	3,391,178千円	3,444,319千円																																		
対医業収益比 (%)	53.1%	54.4%	56.0%																																		
<p>② 経費の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療材料の購入は「診療材料検討委員会」で充分審議し、安価な材料に変更可能なものは変更する。また、物品の一括管理（SPD）の実施により診療材料等を定数管理しているが使用状況の確認を一層強化し、実績の2%削減を目指す。薬品費の削減を図る。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬 品 費</td> <td>672,921千円</td> <td>656,915千円</td> <td>667,303千円</td> </tr> <tr> <td>対医業収益比 (%)</td> <td>10.8%</td> <td>10.8%</td> <td>11.1%</td> </tr> <tr> <td>診 療 材 料 費</td> <td>498,819千円</td> <td>507,382千円</td> <td>481,810千円</td> </tr> <tr> <td>対医業収益比 (%)</td> <td>8.0%</td> <td>8.1%</td> <td>8.0%</td> </tr> <tr> <td>経 費</td> <td>785,347千円</td> <td>840,800千円</td> <td>812,701千円</td> </tr> <tr> <td>対医業収益比 (%)</td> <td>12.7%</td> <td>13.9%</td> <td>13.6%</td> </tr> <tr> <td>う ち 委 託 費</td> <td>421,501千円</td> <td>463,162千円</td> <td>429,845千円</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	薬 品 費	672,921千円	656,915千円	667,303千円	対医業収益比 (%)	10.8%	10.8%	11.1%	診 療 材 料 費	498,819千円	507,382千円	481,810千円	対医業収益比 (%)	8.0%	8.1%	8.0%	経 費	785,347千円	840,800千円	812,701千円	対医業収益比 (%)	12.7%	13.9%	13.6%	う ち 委 託 費	421,501千円	463,162千円	429,845千円	<p>①薬品費削減を図るため後発品の使用を拡大しているが、輸血血液の購入増に伴い薬品費は増加した。</p> <p>②診療材料費削減を図るため、同等品で安価なものへ切替等努力している。</p> <p>③経費については、機械器具備品修繕費は増加したが燃料費など、業者交渉による削減努力を行っている委託費については、外注検査などの委託費は増加したが、保守料が発生せず、減少した。</p>	△	△	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																		
薬 品 費	672,921千円	656,915千円	667,303千円																																		
対医業収益比 (%)	10.8%	10.8%	11.1%																																		
診 療 材 料 費	498,819千円	507,382千円	481,810千円																																		
対医業収益比 (%)	8.0%	8.1%	8.0%																																		
経 費	785,347千円	840,800千円	812,701千円																																		
対医業収益比 (%)	12.7%	13.9%	13.6%																																		
う ち 委 託 費	421,501千円	463,162千円	429,845千円																																		

収入増加・確保対策	実績	進捗の判断	自己評価	委員会評価																
① 急性期病院として平均在院日数の短縮に努め、効率的な病床運営を行い病床利用率を高める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率（全体）</td> <td>84.3%</td> <td>79.9%</td> <td>76.9%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（一般）</td> <td>16日</td> <td>16日</td> <td>16日</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	病床利用率（全体）	84.3%	79.9%	76.9%	平均在院日数（一般）	16日	16日	16日	救総科での1泊入院、クリニカルパスの活用などにより、平均在院日数は16日を推移している。入院患者数の減少により、病床利用率は低下した。	△	△				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																	
病床利用率（全体）	84.3%	79.9%	76.9%																	
平均在院日数（一般）	16日	16日	16日																	
② 亜急性期病床を8床増床し、入院収益の増収を図る。（年間 21,900千円）	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>亜急性期病床</td> <td>20床</td> <td>20床</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日平均患者数</td> <td>18.1人</td> <td>12.5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>90.4%</td> <td>62.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	亜急性期病床	20床	20床		1日平均患者数	18.1人	12.5人		病床利用率	90.4%	62.5%		亜急性期病床は、施設基準の改正等により、平成25年度をもって廃止し、同一フロアの一般病床とともに療養病棟へ変更した。	—	—
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																	
亜急性期病床	20床	20床																		
1日平均患者数	18.1人	12.5人																		
病床利用率	90.4%	62.5%																		
③ 初診時特定療養費や文書料等の見直しを図る。	平成23年12月より、初診時特定療養費・一部診断書料金について県内の病院料金を考慮し増額改定した。 平成26年4月より、消費税増税分の見直しを行った。	平成22年度と比較し、平成26年度の手数料収益は1,106千円の増収となった。	○	○																
④ 診療報酬制度に的確に対応するため、研修等を実施する。	(平成26年度診療報酬関係研修会参加状況) 診療情報管理士専門課程 4名参加 診療情報管理士基礎課程 2名参加 DPC分析セミナー 5名参加 第42回診療録情報管理懇話会 3名参加 第43回診療録情報管理懇話会 3名参加 診療情報管理研修会 1名参加 県ICDコーディング勉強会 7名参加 福井県医事研究会 2名参加 診療報酬改定・機能分化セミナー 1名参加 診療報酬改定セミナー 2名参加 DPCデータ分析事例研究会 1名参加 労災診療費算定実務研究会 1名参加 保険診療に関する講習会 2回	医師をはじめ、看護師、医療技術員に対しても、保険診療に関する院内講習会を実施した。更に事務部において研修、情報収集、分析を行い各職種に対し問題提起すると同時に、適切なコーディング等によりDPCを有効に活用し収益増を目指す。 その為、診療情報管理士の取得育成のために研修派遣をおこなっている。	○	○																

収入増加・確保対策	実績	進捗の判断	自己評価	委員会評価																				
⑤ 良質な医療の提供と収益性の向上を図るため、急性期入院医療における診断群分類包括評価（DPC*2）準備病院に平成20年度申請した。	<p>平成22年7月よりDPC請求開始。</p> <p>（平成25年度） 診療情報管理士基礎課程を4名受講。 診療情報管理士専門課程を2名受講。 診療情報管理士試験に2名合格となった。</p> <p>（平成26年度） 診療情報管理士基礎課程を2名受講。 診療情報管理士専門課程を4名受講。 診療情報管理士試験に1名合格となった。</p>	<p>院内の診療情報管理士は6名となった。今後も引き続き診療情報管理士養成に取り組み、DPC*2を有効に活用する。</p> <p>（平成27年度） 診療情報管理士基礎課程を1名受講中。 診療情報管理士専門課程を2名受講中。</p>	○	○																				
⑥ 地域医療支援病院の承認が得られることにより、入院収益の増収が見込めることから承認申請に向け検討を開始した。	<table border="1" data-bbox="495 544 1227 735"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介患者数</td> <td>3,779人</td> <td>3,945人</td> <td>4,817人</td> </tr> <tr> <td>逆紹介患者数</td> <td>2,355人</td> <td>2,485人</td> <td>2,952人</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>26.3%</td> <td>26.3%</td> <td>24.1%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>20.7%</td> <td>21.7%</td> <td>25.7%</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	紹介患者数	3,779人	3,945人	4,817人	逆紹介患者数	2,355人	2,485人	2,952人	紹介率	26.3%	26.3%	24.1%	逆紹介率	20.7%	21.7%	25.7%	<p>地域医療支援病院認定要件の紹介率の算定方式が変更（救急患者を含まない）となり、紹介率が下がった。現時点での認定取得は困難である。</p>	×	×
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																					
紹介患者数	3,779人	3,945人	4,817人																					
逆紹介患者数	2,355人	2,485人	2,952人																					
紹介率	26.3%	26.3%	24.1%																					
逆紹介率	20.7%	21.7%	25.7%																					

*1 DMA T…医師・看護師・医療職及び事務職員で構成され、大規模災害等が発生した事故などの現場に、急性期に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム。

*2 DPC…診断群分類包括評価（DPC）を用いた入院医療費の定額支払い。

杉田玄白記念公立小浜病院評価委員会 委員名簿

区分	氏名	所属団体・役職等
委員長	白髪 昌世	広島国際大学医療経営学部医療経営学科教授
委員	濱詰 健二	小浜信用金庫理事
委員	吉井 正雄	小浜医師会 会長
委員	松田 克彦	小浜市民生部長
委員	水口 志恵乃	小浜市連合婦人会 会長

杉田玄白記念公立小浜病院評価委員会 開催日

平成27年9月2日（水） 午後6時より 杉田玄白記念公立小浜病院 9階会議室

1) 初期治療から高度特殊医療まで総合的に提供できる救急医療の提供

(単位:人)

		平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
1日平均 患者数	外 来	776.9	781.9	739.9
	入 院	379.3	359.4	350.5
1日平均 救急患者	外 来	29.6	33.0	32.8
	入 院	7.4	7.1	6.9
1日平均 救急患者	時間外	27.7	29.4	28.7
	救急車	5.3	5.5	5.6

救命救急センター 市町別取扱い患者数

(単位:人)

		平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
小浜市		9,433	9,891	9,436
若狭町	旧上中町	1,374	1,434	1,454
	旧三方町	462	325	363
おおい町	旧名田庄村	560	500	540
	旧大飯町	617	693	860
美浜町		39	41	32
高浜町		622	646	762
その他(県内外)		880	1,107	1,022
合計		13,987	14,637	14,469

若狭地域における救急車搬送状況について

平成24年度

(単位:人)

搬送先	死 亡	重 症	中等症	軽 症	合 計
若狭消防組合管内 ①	40	515	711	849	2,115
うち小浜病院	25	429	614	766	1,834
若狭消防組合管外 ②	0	69	19	22	110
舞鶴共済病院	0	34	8	16	58
舞鶴医療センター	0	10	7	5	22
舞鶴赤十字病院	0	1	0	0	1
舞鶴市民病院	0	0	0	0	0
①+②	40	584	730	871	2,225

平成25年度

(単位:人)

搬送先	死 亡	重 症	中等症	軽 症	合 計
若狭消防組合管内 ①	40	551	547	1,004	2,142
うち小浜病院	30	462	471	908	1,871
若狭消防組合管外 ②	0	80	35	19	134
舞鶴共済病院	0	52	17	13	82
舞鶴医療センター	0	9	15	6	30
舞鶴赤十字病院	0	1	0	0	1
舞鶴市民病院	0	0	0	0	0
①+②	40	631	582	1,023	2,276

平成26年度

(単位:人)

搬送先	死 亡	重 症	中等症	軽 症	合 計
若狭消防組合管内 ①	56	522	603	977	2,158
うち小浜病院	48	456	549	897	1,950
若狭消防組合管外 ②	1	118	18	20	157
舞鶴共済病院	0	74	8	11	93
舞鶴医療センター	0	5	8	7	20
舞鶴赤十字病院	0	1	0	0	1
舞鶴市民病院	0	0	0	0	0
①+②	57	640	621	997	2,315

2) 生活習慣病に適切に対応する医療の提供

(単位:人)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	受診者	要医療指摘者数	受診者	要医療指摘者数	受診者	要医療指摘者数
人間ドック	723	447	716	495	744	536
PET健診	40	15	35	10	29	18
脳ドック	62	13	88	38	58	32
人間ドック+脳ドック	46	38	54	36	62	44
人間ドック+PET健診	3	2	-	-	-	-
特定健診	81	9	90	11	80	7
婦人科癌検診	-	-	-	-	-	-
協会けんぽ	124	74	216	148	146	92
市町個別がん検診	48	-	68	-	26	-
受診者数合計	1,127	598	1,267	738	1,145	729
健診収入	51,817,738円		54,832,169円		54,280,370円	

3) 地域災害医療センターとしての医療機能の提供

「評価シート記載の通り」

4) へき地医療拠点病院としての機能の提供

(単位:人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
巡回診療日数	168	168	168
1回平均患者数	6.3	5.4	5.1

年度別へき地診療実人数調

(単位:人)

年度	堅海	上根来 (上根来・下根来)	宮川	音海	日引	上瀬	奥杉山	河内	西浦 (常神・神子)	合計
	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数
21	393	222	114	102	24	45	26	38	395	1,359
22	357	200	94	91	24	41	35	45	378	1,265
23	253	167	91	58	14	32	48	42	388	1,093
24	239	139	62	47	23	25	62	43	417	1,057
25	196	119	39	43	24	37	56	40	351	905
26	167	109	46	24	22	36	48	34	379	865

5) 小児医療・産科医療の確保

(単位:人)

			平成24年度	平成25年度	平成26年度
1日平均 患者数	小 児	外来	70	66.9	54.0
		入院	4.7	3.7	4.6
	産 科	外来	29.8	26.5	24.0
		入院	10.6	6.7	6.2
分娩件数	正 常		100	133	108
	異 常		75	29	20
	帝王切開		42	40	46
	計		217	202	174
分娩収入(自費非課税分)			85,573,580円	82,345,620円	84,359,860円

6) 研修機能の充実

学会・研修会等への出席

(単位:人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
医 師	246	247	187
看 護 師	154	165	138
医療技術員	139	90	94
事 務 職 他	81	65	96

臨床研修医の状況

(単位:人)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
病 院 単 独		7	8	7
大学との たすき掛	医科	1	0	0
	歯科	0	0	0
合 計		8	8	7

救急救命士の研修状況

(単位:人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
救急救命士の研修	16	1	15

7) 看護師の養成・確保

(単位:人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
養成所入学者	32	44	30
卒業 者	小浜病院組合	11	14
	その他	20	10
	計	31	24
看護 師	新採用者	20	17
	退職者	19	18
	増減	1	-1

8) 地域医療機関との連携の推進

平成26年度 医療機関別

紹介患者件数

にしお内科クリニック	314
田中整形外科医院	312
名田庄診療所	288
小津外科医院	260
本馬医院	251
上中病院	219
千葉医院	197
福井大学医学部付属病院	185
村上眼科医院	185
舞鶴共済病院	171
なごみ診療所	151
若狭高浜病院	141
堀口医院	131
京都大学医学部付属病院	130
嶺南こころの病院(旧嶺南病院)	103
歯科大下医院	97
いちせクリニック	86
山手医院	86
まつき歯科医院	82
吉井医院	73
敦賀温泉病院	71
田中病院	56
中名田診療所	56
レイクヒルズ美方病院	51
西津診療所	50
福井県済生会病院	48
関根医院	35
市立敦賀病院	33
和田診療所	32
敦賀医療センター(旧国立福井病院)	31
三方診療所	31
福井県立病院	31
京都府立医科大学付属病院	23
とむらクリニック	23
山本こども診療所	22
舞鶴医療センター	21
ゆなみ	21
小計	4,097
その他(19件未満)	720
総計	4,817

逆紹介患者件数

福井大学医学部付属病院	265
舞鶴共済病院	201
本馬医院	193
京都大学医学部付属病院	154
にしお内科クリニック	129
上中病院	117
千葉医院	103
小津外科医院	96
なごみ診療所	95
名田庄診療所	92
吉井医院	65
田中病院	64
若狭高浜病院	61
まつき歯科医院	56
田中整形外科医院	51
嶺南こころの病院(旧嶺南病院)	42
山手医院	41
中名田診療所	40
歯科大下医院	40
福井県立病院	39
堀口医院	38
福井県済生会病院	35
西津診療所	34
舞鶴医療センター	30
レイクヒルズ美方病院	30
市立敦賀病院	28
敦賀温泉病院	23
小計	2,162
その他(19件未満)	790
総計	2,952